

早稲田大學東洋哲學會大會の御案内

拜啓 新緑が目に染みる時節となりました。お變わりなくお過ごしでしょうか。
さて、早稲田大學東洋哲學會第三十九回大會を、左記の通り開催致しますので、なにとぞ御参加賜りますよう御案内申し上げます。

敬具

令和四年 五月六日

早稲田大學東洋哲學會

各位

記

早稲田大學東洋哲學會 第三十九回大會

〈日時〉 六月十一日（土曜日）午後一時より

〈会場〉 早稲田大學戸山キャンパス 三十三號館 三階 第一會議室

〈プログラム〉

○ 研究發表（午後一時より）

一、『心性罪福因緣集』卷中第十三話と傳源信『法華經讀誦觀』

——平安後期『法華經』讀誦法の一側面——

早稲田大學総合人文科學研究センター客員次席研究員

崔 鵬偉

一、南宋における華嚴宗章疏の刊刻と教學の展開——智儼撰『孔目章』を例に

早稲田大學非常勤講師／神奈川縣立金澤文庫非常勤職員

櫻井 唯

一、古靈寶經に於ける『法輪罪福』の位置付け

早稲田大學大学院博士後期課程修了

林 佳恵

一、張九成『孟子傳』考察——心の「幾」を中心に

國士館大學文學部教授 松野 敏之

一、ガンダルヴァの都城——『根本中觀頌』の意味

早稲田大學文學學術院非常勤講師 齋藤 直樹

○ 講 演（午後四時より）※東洋哲学コース共催

一、日本古寫經『金剛場陀羅尼經』（國寶本・五月一日經本・七寺一切經本・興聖寺一切經本）について

國際佛敎學大學院大學敎授／日本古寫經研究所所長 落合 俊典

○ 總 會（午後五時三十分より）

○ 懇親會

本年度は中止致します。

【追 記】

※ 大會當日の御連絡は、早稲田大學東洋哲學研究室 (waseda.totetsu@gmail.com) までお願ひ致します。